

新型コロナウイルス感染症対策に係る熊本県のリスクレベルは 【レベル2警戒】を維持します

直近1週間（6月23日（火）から6月29日（月））の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、別添のとおり6月30日（火）からのリスクレベルは【レベル2警戒】を維持します。

※リスクレベルを下げる場合は、過去2週間の発生状況を踏まえて総合的に判断することとしています。

【概要】

1 期間中の感染状況

期 間	新規感染者数	リンクなし感染者数
6月23日（火）～6月29日（月）	0名	0名

2 熊本県リスクレベルについて

前回（6月24日発表）	今回（7月1日発表）
レベル2警戒 なお、感染状況の傾向は、先週から変化は見られない	レベル2警戒 なお、感染状況の傾向は、先週から変化は見られない

※詳細は別添のとおり。

3 県民の皆様へのお願い

- ・三つの密の回避、手洗い等の手指衛生、人と人との距離の確保、マスク着用等の基本的感染防止をお願いします。
 - ・「新しい生活様式」の実践をお願いします。
 - ・発熱又は風邪の症状がある場合は、自宅で療養しましょう。また、コロナウイルス検査を受ける時や感染者との濃厚接触疑い時などに、保健所から自宅待機を指示された場合は、指示を守っていただきますようお願いいたします。
- ※外出自粛、イベントの開催制限等詳細は別添のとおり。

熊本県新型コロナウイルス感染症対策本部事務局
（健康福祉部健康危機管理課）
問合せ先：上野、緒方
電話：096-333-2478
（内線）5930、5932

熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和2年（2020年）7月1日】

1 熊本県における現状認識

本県においては、6月22日に1か月半ぶりに感染者1名を確認し、当該感染者の濃厚接触者等を含め、期間中（6/23～6/29）に新規感染者は確認されていない*。

リスクレベルについては、下げる場合は過去2週間の発生状況を踏まえて総合的に判断することとしているため、「レベル2警戒」を維持する。感染状況の傾向については、先週から変化は見られない。

国内のその他の状況として、主に首都圏において感染者が毎日数十人確認されており、また、6月19日の対応緩和以降、人の移動の増加や、イベントの増加等が予想される。

そのため、県民及び事業者の皆様に対し、熱中症予防に配慮しつつ、基本的な感染防止対策、「新しい生活様式」の実践、県の感染防止対策チェックリスト及び国が取りまとめた業種ごとの感染拡大予防ガイドラインの周知を継続することが重要である。

また、感染者の早期発見を図るため、国が6月19日にリリースした接触確認アプリの周知が必要である。

*…神奈川県横浜市で感染が疑われ、検査中の方が、結果判明前である6月26日に本県に帰省し、同日陽性が判明した事例は、熊本県の感染者とされる。（本人は熊本県の病院に入院。また、県内の濃厚接触者9名は全員陰性を確認した。）

前回（6/24）	今回（7/1発表）
レベル2警戒 なお、感染状況の傾向は、先週から変化は見られない。	レベル2警戒 なお、感染状況の傾向は、先週から変化は見られない。

*リスクレベルは、「特別警報」、「警報」、「警戒」、「注意」、「平常」の5区分で判断する。

*レベルに加え、感染状況の傾向の判断を行う。

[熊本県リスクレベル]

*あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

リスクレベル	県の判断基準	対策例
レベル4 特別警報	県内で ①新規感染者15名以上かつ ②リンク無し感染者8名以上	レベル3の対策に加え ・不要不急の外出自粛要請 ・県外等への移動自粛を要請 ・全ての催事等の自粛要請 ・施設への休業要請
レベル3 警報	県内で ①新規感染者10名以上 又は ②リンク無し感染者5名以上	レベル2の対策に加え ・週末等の不要不急の外出自粛要請 ・催事等の自粛要請 ・施設への休業要請
レベル2 警戒	県内で①新規感染者が発生かつ ②レベル3に該当しない場合	レベル1の対策に加え ・感染拡大リスクを高める3つの密が重なる催事の自粛要請 ・不特定多数が利用する県有施設の閉館
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生かつ ②県内では新規感染者が未発生	レベル0の対策に加え ・3つの密が重なる感染拡大リスクが高い活動や催事において、まん延防止対策を行う
レベル0 平常	国内で新規感染者が確認されていない	・新しい生活様式の広報・実践

* 「リンク無し感染者」とは、感染源が特定できないもの。

* レベルを上げる場合は、週ごとに総合的に判断し、レベルを下げる場合は、前週、前々週の発生状況を踏まえ、同様に判断する。

* 各所管施設の開閉においては、所在する市町村と情報共有し、調整に努めること。

* 3つの密とは、①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人が密集している）、③密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (6月30日現在)

- 熊本県では、6月22日、1か月半ぶりに天草保健所管内において、感染者1名が確認されたが、先週(6/23～6/29)は確認されなかった。
- リスクレベルを下げる場合は、過去2週間の発生状況を踏まえ、総合的に判断することから、熊本県は「レベル2警戒」を維持することが妥当である。
- なお、熊本市内では感染者は確認されていないため、熊本市においては「レベル1注意」を継続する。
- 一方で、神奈川県横浜市で感染が疑われ、検査中の方が、結果判明前に県内(阿蘇保健所管区内)へ帰省し、陽性が判明した事例が発生している。
- 県民・市民の方には、発熱又は風邪の症状がある場合は、自宅で療養するほか、検査を受けることになった場合は、保健所の指示を守り、必要な期間は自宅待機等をしていただくよう、願います。
- 天草及び阿蘇保健所管内の事例ともに感染拡大には繋がっていないものの、首都圏においては、感染者が毎日数十人の規模で確認されており、今後、県をまたいだ人の移動は増加することが予想されるため、新たな感染者が来熊する可能性は否定できない。
- 今回も、県と市でリスクレベルは異なるものの、県民・市民及び事業者の皆様には、気を緩めることなく、引き続き熱中症予防に留意しつつ、「新しい生活様式」の実践に取り組んでいただきたい。
- あわせて、厚生労働省が開発した接触確認アプリ「COCOA」が広く活用されることで、感染拡大の端緒を捉えることが可能になると考えられるため、県民・市民への周知を促進していく必要がある。

3 県民の皆様へのお願い（7月1日発表）

熊本県のリスクレベルは【レベル2警戒】を維持します。
また、感染状況の傾向に変化はありません。
つきましては、感染防止のため、次の対応をお願いします。

（1）基本的な考え方

- ・ 三つの密の回避、手洗い等の手指衛生、人と人との距離の確保、マスク着用等の基本的感染防止をお願いします。
- ・ 「新しい生活様式」の実践をお願いします。
- ・ 発熱又は風邪の症状がある場合は、自宅で療養しましょう。また、コロナウイルス検査を受ける時や感染者との濃厚接触疑い時などに、保健所から自宅待機を指示された場合は、指示を守っていただきますようお願いします。

（2）外出自粛について

- ・ 県をまたぐ移動は基本的に自由ですが、引続き「三つの密」のある場及び感染が流行している地域へは、「新しい生活様式」の一環として、移動を控えてください。

（3）イベントの開催制限について

- ・ 感染拡大リスクを高める3つの密が重なる催事については自粛してください。
- ・ 全国的又は広域的な人の移動が見込まれ、参加者の把握が困難な、お祭り・野外フェス等の開催は、中止を含めて慎重に検討してください。
- ・ 屋内のコンサート、展示会等については、収容率50%以内かつ1,000人以下のものは可能です。
- ・ 屋外のコンサート等については、十分な間隔(できれば2m)を取り、かつ1,000人以下のものは可能です。
- ・ 参加者がおおよそ把握できる地域の行事（盆踊り等）については、適切な感染防止策を講じたうえで実施してください。
- ・ プロスポーツ等は、無観客試合は可能ですが、主催者において選手・出演者等に対し、適切な感染予防策を講じてください。
- ・ いずれのイベント実施も、3密を避ける等の基本的な感染防止の徹底が条件です。

（4）事業者の感染防止活動について

- ・ 県が示したチェックリスト、国が取りまとめている業種ごとの感染拡大予防ガイドラインにより、十分感染防止活動を行ってください。
- ・ 県民の皆様は、感染防止活動を行っているお店を選んで利用してください。

（5）その他

- ・ 厚生労働省がリリースした接触確認アプリについては、積極的な利用をお願いします。

4 各種啓発媒体について (それぞれホームページに掲載)

(1) 県民向け

① 「新しい生活様式」の実践例

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本: ① 自身の健康状態の確認、② 마스크の着用、③ 手洗い

① 自身の健康状態の確認

- 発熱、咳、気管支炎、喉痛、鼻水、目やま、めがま、下痢、嘔吐、味覚・嗅覚障害などの症状が出現した場合、外出を控える。
- 症状が軽微でも、周囲に感染させないよう、マスクを着用し、人との距離を保つ。
- 症状が軽微でも、周囲に感染させないよう、マスクを着用し、人との距離を保つ。

② 마스크の着用

- 外出時、公共交通機関、店舗、公共施設、学校、職場などで、周囲の人との距離が2m未満の場合、マスクを着用する。

③ 手洗いの徹底

- 外出先、公共施設、学校、職場などで、周囲の人との距離が2m未満の場合、手洗いを徹底する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- マスクの着用、手洗いの徹底、マスクの着用、手洗いの徹底
- 外出先、公共施設、学校、職場などで、周囲の人との距離が2m未満の場合、手洗いを徹底する。

(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- マスクの着用、手洗いの徹底、マスクの着用、手洗いの徹底
- 外出先、公共施設、学校、職場などで、周囲の人との距離が2m未満の場合、手洗いを徹底する。

通勤、通学

- マスクの着用、手洗いの徹底、マスクの着用、手洗いの徹底
- 外出先、公共施設、学校、職場などで、周囲の人との距離が2m未満の場合、手洗いを徹底する。

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークや、オンライン会議、オンライン授業など、リモートワークの活用
- オンライン会議、オンライン授業など、リモートワークの活用

② 人との接触を8割減らす、10のポイント

人との接触を8割減らす、10のポイント

緊急事態宣言発令以降、人との接触を減らすことが、新型コロナウイルス感染症の拡大を抑えるために必要です。新型コロナウイルス感染症が広がるのを防ぐために、日常生活を見直し、人との接触を減らしましょう。

- 1** ビデオ通話でオンライン開催
- 2** スーパーは1人または少人数ですいている時間に
- 3** ジョギングは少人数で公園は少ない時間、場所を選ぶ
- 4** 待てる買い物は通販で
- 5** 飲み会はオンラインで
- 6** 診療は遠隔診療
- 7** 筋トレやヨガは自宅での動画を活用
- 8** 飲食は持ち帰り、宅配も
- 9** 仕事は在宅勤務
- 10** 会話はマスクをつけて

3つの密を避けましょう

1. 狭い空間・狭小空間
2. 多数の集まる場所
3. 換気が不十分である場所

手洗いつけ、換気や、健康管理を、同時に徹底です。

③ 新型コロナウイルス接触確認アプリ

新型コロナウイルス接触確認アプリのインストールをおねがいします

自分をまもり、大切な人をまもり、地域と社会をまもるために、接触確認アプリをインストールしましょう。

厚生労働省 新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA

COVID-19 Contact Confirming Application

COCOAは、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができる、スマートフォン向けのアプリです。

このアプリは、利用者の本人の同意を前提に、スマートフォンと近接通信機能（Bluetooth）を利用して、近接した可能性のあるアプリユーザーを探索し、新型コロナウイルス感染症の感染者が通知した可能性について、通知を受け取ることであります。

利用者は、感染者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など適切な対応を早くとることであります。利用が広がることで、感染拡大の防止につながることを期待されます。

インストール済み、15分以上の滞在した可能性

アプリのインストールや詳しい情報はこちらから

厚生労働省 内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策推進事務局 政府広報庁 行政情報課

(2) 事業者向け

④ くまモンイラストによる啓発

くまモンと一緒に新しい生活スタイルを!!

手を洗うモン #WashHands
くっつかないモン #KeepDistance
換気をするモン #OpenWindow

① 熊本県感染防止対策チェックリスト

熊本県作成 感染防止対策チェックリスト

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、主に以下の対策を徹底してまいります。

- 「3つの密」を避ける
 - ① 密閉空間を避ける
 - 空調機に入力口カバーやフィルターを交換し、換気扇を回すなど、2方向で換気を行う。
 - 密閉した部屋は使用しない。
 - ② 密集場所を避ける
 - 対面だけでなく横並びで並ぶ。
 - 人と人が対面する場合はパーテーションやドーナツカーンを設ける。または、人との距離（1m、できれば2m）を十分に確保する。
 - ③ 密接場面を避ける
 - 入場人数や乗合台数の制限。
 - 入退場時や乗合場所、会計時の列などにおける十分な期間の確保。
- その他
 - 発熱や風邪、感冒の症状がある方の入場制限や従業員の勤務制限。
 - 除菌シート、こまめな手洗い、手指消毒の徹底。
 - 従業員及び入場者に対するマスクの着用の徹底。
 - 人口及び換気率に手指消毒設備を設置。
 - 掃除の適切な消毒や清掃。
 - ユニフォームや衣服のこまめな洗濯。
 - トイレにおけるハンドドライヤー、共通タオルの使用停止。
 - 休憩スペースの利用人数の制限。
 - 飲食、喫煙などが付いたごみはビニール袋に密閉。回収時は手袋を使用。
 - 万が一の備え、利用者の電話番号などの連絡先を把握（昼間0時から4時まで）。
 - 大人数の会議が行われぬよう、BGMや機械の故障品等を最小限に調整。

② 業種ごとの感染拡大予防ガイドライン

業種	業種名	業種別	ガイドライン
1	飲食店	業種別	飲食店 業種別ガイドライン
2	小売店	業種別	小売店 業種別ガイドライン
3	観光、娯楽、文化施設	業種別	観光、娯楽、文化施設 業種別ガイドライン
4	宿泊業	業種別	宿泊業 業種別ガイドライン
5	福祉施設	業種別	福祉施設 業種別ガイドライン
6	医療施設	業種別	医療施設 業種別ガイドライン
7	教育施設	業種別	教育施設 業種別ガイドライン
8	労働者	業種別	労働者 業種別ガイドライン
9	公共交通機関	業種別	公共交通機関 業種別ガイドライン
10	建設業	業種別	建設業 業種別ガイドライン
11	製造業	業種別	製造業 業種別ガイドライン
12	卸売業	業種別	卸売業 業種別ガイドライン
13	情報通信業	業種別	情報通信業 業種別ガイドライン
14	不動産業	業種別	不動産業 業種別ガイドライン
15	金融業	業種別	金融業 業種別ガイドライン
16	保険業	業種別	保険業 業種別ガイドライン
17	運輸業	業種別	運輸業 業種別ガイドライン
18	郵便業	業種別	郵便業 業種別ガイドライン
19	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
20	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
21	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
22	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
23	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
24	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
25	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
26	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
27	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
28	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
29	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
30	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
31	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
32	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
33	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
34	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
35	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
36	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
37	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
38	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
39	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
40	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
41	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
42	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
43	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
44	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
45	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
46	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
47	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
48	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
49	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン
50	郵便局	業種別	郵便局 業種別ガイドライン

(6月1日最終改正)

【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況 (3/31~6/29)】

